

清須市立新川中学校で防災講座を行いました

令和6年12月17日（火）、清須市立新川中学校で3年生約170名に防災講座を行いました。学校は東海豪雨で浸水しており、校長室の机の脚には、その痕跡が残っています。

講座では、清須市でも被害のあった伊勢湾台風、東海豪雨など過去の水害や頻発する線状降水帯について学習しました。東海豪雨については殆どの生徒が知っており、地域の水害の記憶がしっかり伝承されていました。

VRによる浸水疑似体験では、「水にのまれたので気をつけて早く避難したい」「避難しようとしたときには、腰まで水があったので早く逃げたい」などの感想があり、早期避難への重要性が伝わっていた様でした。

また、伊勢湾台風A | 語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、「どれくらい怖かったですか?」「伊勢湾台風のような被害を防ぐため、自分達に出来ることは何ですか?」などと湾太郎さんに語りかけ、対話を通して理解を深めていました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



校長室の机の脚にある
浸水の痕跡